

佐藤佳澄 [著]

正攻法ではないけれど
必ず書き上げられる
はじめての
ケースレポート論文

中外医学社

01

Case report のすごい効能

1 本書は完全なる初心者のための本

みなさんはなぜ本書を手にとったのでしょうか？

- なんとなく英語の業績を作ってみたい。
- 上司に発表してみたら？ と言われた。
- 自分の名前を PubMed で検索してヒットしたらカッコいい。
- 専門医取得に必要で仕方なく……。
- 周りに Case report を書いている人がいない。
- Case report を書き始めたけどお蔵入りしている。

この本はこのような方に向けた本です。逆に、本書が向いていない方もいます。

- 既に英語論文をスイスイ書ける。
- 高いインパクトファクターなど、より質の高い業績を目指している。

このような方は、本書に書かれていることは既にご存知かと思います。正攻法とは言えないことばかり書かれており、かなり邪道な本です。既にアカデミックな業績がある方が読むのは禁止にしたいくらいです。その代わり初心者でも臨床家が読めば、1本目の Case report をなんとか書くための戦略を立てられるような本を書きました。

2

自己紹介

はじめまして、秋田大学医学部附属病院高度救命救急センターの佐藤佳澄

最大の要所は Learning point の設定

1 初心者は自分のために書こうとする

では早速、Case report を作っていきましょう。最初に考えるのは、症例選びですよね。Case report 関連で受ける質問の中で最も多いのは「どんな症例がいいですか？」というものです。

真っ先に出てくる思考は「珍しい症例を経験した」系の切り口です。頻度の低い病気や合併症に関して言及するものです。学会発表でも「〇〇を経験した」という結語をよく見ます。しかし本書では、Case report を書く上で「**経験した**」というまとめ方はおすすめしません。その理由は、経験とはあなた固有のもので、他者にとっては関係がないことです。貴重な症例を経験し、まとめ学習をするための場であれば自分のノートでよいわけです。疾患が珍しいとアピールするほど、遭遇する可能性が低く読者は興味を失います。Case report は自分のためではなく、**読者のために書く**ということを第一義的な価値観にしましょう。

未来のいつか、自分が Case report で取り上げたのとよく似た症例が、世界のどこかで発生したことを想像してください。その症例の担当医が、診療方針に困ってインターネットで検索したところ、あなたの Case report を見つけました。そのときに、円滑で質の高い診療をできるようにさせてあげたい。そういうコンセプトで症例選びをするといいのです。困った担当医の姿を思い浮かべてみてください。**その人に対する手紙が Case report です。**

現代は SNS をはじめとする発信が、あらゆる人によって盛んにおこわれている、一億総発信者時代です。ビジネスでも学会発表や講演会といった発信をする機会がある方もいると思います。発信の準備をおこなうときには、1

2

テーマが決まれば書けたも同然

Case report は**テーマ設定が最も大事**です。症例選びではありません。テーマ設定と症例選んで違うの？ と思った方もいらっしゃると思います。ある症例から、あなた伝えたいと感じた部分を抽出したものが、テーマになります。テーマ設定は症例を実際に診療したあなただからこそできる、というものにします。抽出が Case report のおもしろみを作ります。



テーマはあなたというフィルターを通して抽出される

Case report は「困った担当医への手紙」と説明しました。テーマはその担当医（読者）にとっての Learning point と言い換えられます。「この症例の Learning point ってなんだろう？」を考える作業が、テーマの抽出作業です。Learning point をテーマを決めてしまえばあとは簡単です。Case report はパズルのようなもので、所定の位置に決まったピースを置いていくと完成します。テーマが決まると、ピースのシルエットが浮き彫りになります。そのシルエットを頼りにピースを作り上げる作業が文献検索です。ピースができたなら、あとは並べる作業です。本当のパズルと違ってピースの数が少ないので、並べる作業は難しくありませんので安心してください。

関係者が複数いる場合には、思いつく限りリストアップして対応を考えます。そこまで深い関与でない人まで一旦、広く拾い上げて対応を考えることをおすすめします。逆に、あまり周囲に関与してくれる人がいない場合は、この本を読んで、試行錯誤しながら完成に漕ぎ着ければいいだけですから気楽です。書き上げたら、直属の上司に目を通して許可をもらえばいいだけなので、板挟みには合いません。周囲に関与してくれる人がいないというのは普通は悩みになりますが、マイペースにのびのびと成長でき、悪いことだけじゃないと思って前向きに作業すればいいと思います。

5 誰を Author にするか？

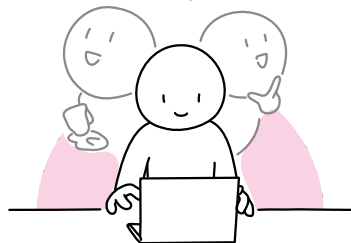
関係者のうち誰を共著者にするのが適当でしょうか。

こんな風に著者を選んではいけません。

**指導してくれた先生と、部長と、
同じ診療チームの先生と…**

あとはあんまり関係ないけれど
普段お世話になっているし

副部長も並べておくか



こんなふうに共著者を決めるのは NG

機械的に手を動かすだけで書き終わっている

Case report の型が決まっています (Chapter 6) ので、自らが収集した情報をもとに作ったピースを型に合わせて置いていくだけで Case report は完成するはずですが (図 8-1)。

これが Case report 本文の全体像です。Learning point ① の話題を赤、Learning point ② の話題をグレーに色付けしております。Introduction では、赤→グレーを 2 回繰り返し、Discussion では赤→グレーを 3 回繰り返しています。Case report は 2 つの Learning point について交互に話題に出している

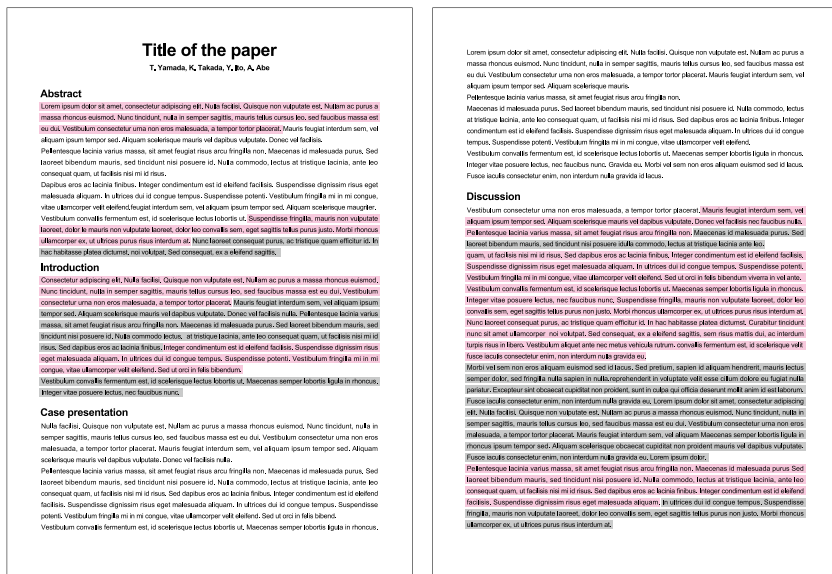


図 8-1. Case report の書き方の全体像

1 安くてモラルのある医学ジャーナルとは

この章では、Case reportの投稿費用を安く済ませるにはどうしたらよいかを考えていきます。この本の読者の多くは研究費を持ち合わせていないと思います。周囲に研究歴がある人がいたり、教育機関で働いていたりする方は少しお金のアテがあるかもしれません。そうは言ってもCase report出版にお金をかけようと思えば、数十万円レベルでかかってしまうもので、余裕でこれを拠出できるよ、という方はいないのではないのでしょうか。

また投稿費用が安いことは重要ですが、モラルも重要な観点です。では、モラルがある医学ジャーナルとはなんでしょう。投稿者に高額な投稿費用を請求することなく、かつ、きちんとした査読プロセスをもつジャーナルだと考えます。投稿された論文を評価し、適切な査読者を招き入れ、論文を正しい方向に導くのは、きちんとした医学ジャーナルの役割です。

論文のCase reportの出版料(Article Processing Charge, APC)は、0~50万円の範囲とかなり幅があります。この中には、高額なAPCを請求しながらも、きちんとした査読プロセスを持たずにどんどん論文掲載をしていく悪徳なジャーナル(通称ハゲタカジャーナル)があります。ハゲタカジャーナルについては後述しますが、まずは悪徳なジャーナルから距離をおく一般的な方法をみていきましょう。

一つは国内学会が発行する英文の医学ジャーナルに注目することです。きちんとした国内学会が発行しているジャーナルが詐欺まがいの悪徳行為をおこなうことはまずないと思ってよいでしょう。学会からの助成でAPCが安く設定されていたり、学会員であれば大幅ディスカウントを受けられるよう

症例報告を書くっていくらかかるの？

Case report を執筆し、投稿するためには様々な費用がかかります。ここでは、その費用について詳しく解説していきます。

■ 文献購入費用

Case report を書くためには、参考文献の調査が欠かせません。しかし、すべての文献が無料でアクセスできるわけではなく、有料のものもあります。文献購入費用は、一般的には数千円程度ですが、文献によってはそれ以上かかることもあります。有名どころのジャーナルは大学や病院で契約してくれていることもあります。そのような環境にいない方にとってオープンアクセスジャーナルは強い味方です。

■ 英文校正費用

英語で Case report を執筆する場合、文法や表現を正確にするために英文校正を依頼することが一般的です。英文校正業者や文字数によって費用は異なりますが、筆者の経験では1~2.5万円の範囲で推移することがほとんどです。

■ Article Processing Charge (APC)

オープンアクセスジャーナルでは、査読や出版のプロセスにかかる費用をカバーするため、著者から APC が徴収されることがあります。APC はジャーナルや論文の長さによって異なりますが、一般的には商業的なオープンアクセスジャーナルを選ぼうとすると数万~数十万円程度かかることが多いです。オープンアクセスに限定せず、読者が購読料を払う古典的なタイプのジャーナルを含めると、安価であったり無料で済むこともあります。APC